

高士川

43・8月

8. 30

No. 97

町の人口

面積	31.09Km ²
人口	43,801 現在 15,028人
男	7,451人
女	7,577人
世帯数	3,317世帯
町議員数	18人

印刷/望月印刷所 T 0304

一 小の全体改築事業

四期工事（給食センター・特別教室）完成で終了

八月二十八日・落成式と95周年記念式典

昭和三十九年九月に始められた一小改築事業は、一、二、三期工事および体育館工事を経てことしの二月、最終の四期工事に着工、八月二十五日に完成、ここに四年の歳月と一億七千万円の建設費を投入してその全体計画を実現されました。

四期工事

鉄筋四階建一部鉄骨・給食センター及び特別教室、延七〇一㎡（二・二坪）建設費見込三、二六九万七千円。

一階 給食センター（調理室・事務室・調理員室・倉庫）

二階 保健室・視覚室・保健事務室

三階 図工室・準備室

四階 音楽室・準備室

式典は、八月二十八日午後三時一小体育館に二百八十余名の関係者を集めて挙行されました。

席上、中川町長は、一小発展に



写真 四期工事を終え、総合校舎を形成した一小。体育館（半円屋根）の左端、四階建の建物がこんど完成した特別教室（2・3・4階）と給食センター（1階）

尽力された次の方に感謝状、表彰状を贈りその労をたたえました。

感謝状（敬称略）

〔歴代町長〕

若槻武樹・常葉一郎・斎藤三郎
伊東亀年・若槻正作・渡辺直吉・
勝呂重作・谷津倉寛一・斎藤金平
斎藤邦雄・池谷孝太郎

〔歴代校長〕

福田懐徳・川口熊吉・勝呂重作
高田利信・牧野末男・久保田陣太
郎・原田良之輔・森隆蔵・大石四
郎・神戸英太郎・鍋田良次・岡野
光夫・杉山和作

表彰状

〔水年勤続者〕

望月豊吉・中村助次・前島まつ
子・杉山多次郎・斎藤茂・田村タ
カ・桐谷しづ・斎藤歳雄・篠根チ
ヨ・若月強作

一 小は、この後、残りの一部旧校舎の取りこわしと校庭整備事業にかかります。

◆ 中川町長談「給食センター・特別教室を完成して、総合教育施設を誇る近代的小学校として出発できることを嬉しく思っています。

ときに創立95周年にあたり、一小発展のために尽力せられた先輩諸氏、関係者の皆さんに心から敬意と感謝を捧げる次第です。」

一 小改築工事
期別の内容

●第一・二期工事

(昭和39・40年度)
鉄筋四階建校舎

延二二九一 m^2 (六九三坪)
建設費 五、五二七万五千元
財源内訳
国庫補助一、五九八万八千円
起債 二、九〇〇万円
その他 六〇六万円

一般財源 四三二万七千円

着工 昭和39年9月27日
完成 昭和40年8月10日
設計者 神村一級建築事務所
請負者 遠藤建設株式会社

●第三期工事

(昭和41年度)
鉄筋三階建校舎

延一九七三 m^2 (五九七坪)
建設費 五、二六六万八千円
財源内訳
国庫補助一、〇九九万九千円
起債 二、二〇〇万円
その他 一、〇七九万四千元

一般財源 八八七万五千元

着工 昭和40年12月28日
完成 昭和41年7月31日
設計者 神村一級建築事務所
請負者 株式会社 若月組

●体育館建設工事

(昭和42年度)
SK式鉄骨造一部二階建
延八九八 m^2 (二七二坪)
建設費 三、〇七六万六千円
財源内訳
国庫補助 五二二万九千円
起債 一、〇〇〇万円
その他 七四万円

●第四期工事

(昭和43年度)

鉄筋四階建一部鉄骨・給食センター及び特別教室
延七〇一 m^2 (二二二坪)
建設費見込三、二六九万七千円
財源内訳
国庫補助 三八八万円
起債見込一、二〇〇万円

●全体事業

(昭和39年~43年度)

建築総延面積 五八八七 m^2 (一七八一坪)
建設費 一億七、一四〇万円
国庫補助三、六〇八万六千円
起債 七、三〇〇万円

その他 一、七五九万四千元
一般財源四、四七二万円
●完成後の規模
敷地総面積 二、九八五 m^2 (三九二八坪)
建坪面積 二、三六一 m^2 (七一四坪)

運動場 一〇、一五一 m^2 (三〇七一坪)
その他 四七三 m^2 (一四三坪)
児童数 九三一人
学級数 二五学級
教職員数 三二人

一 小沿革の概要

一 開校95周年一



明治6年 木島・岩渕・中之郷三村各校合併して清源院(岩渕)にて開校。文淵閣と称す。
明治10年 岩渕古谿に校舎新築(ほぼ現在地)
明治11年 二等小学校と称す。
明治14年 村立小学校文淵閣と称す。
明治19年 尋常小学校文淵閣と称す。
明治24年 火災で全焼、同年8月
明治30年 町営プール完成

昭和32年 町村合併により富士川町立第一小学校と称す。
昭和36年 完全給食を実施。
昭和39年9月 鉄筋コンクリート造り校舎建設開始。
昭和40年3月 第一期工事完成。
昭和40年8月 第二期工事完成。
昭和41年7月 第三期工事完成。
三階建(一部四階) 鉄筋コンクリート造校舎。
昭和43年4月 講堂兼体育館新築工事完成。SK式鉄骨造一部二階建。
昭和43年8月 第四期工事完成。鉄筋四階建一部鉄骨造。一階に学校給食センター併設。
清庵消防査閲大会
当町第一分団
ポンプ操法で二位
静岡県消防協会主催、昭和43年度清庵支部消防操法及び規律訓練査閲大会は、八月二十五日(日)清水市立第四中学校校庭で開催されました。
大会は九時に始まり十二時に終了、ポンプ操法に参加した当町第一分団ポンプ班(7名、野沢啓富指揮者)は、参加八隊中二位の成績を収めました。なお、公表結果で一位とは極少差であったことが分り、惜しまれています。

施設の機能を

最大限に

一 小校長 杉 山 和 作

この学校とはご縁があるというのか、わたくしが中部教育事務所にて在勤中、所長の代理で、一二期工事の起工式に招かれ出席しています。

赴任後、工事につぐ工事、驚きもし、多少は、児童生徒の教育に障害となるのではないかとという危惧も感じさせられました。着々実を結び、本日、本校創立95周年のよき日に完成された総合校舎を見たとき、町ご当局の遠見に改めて敬意を表すものです。

同時に、この新総合校舎の初の校長として、榮誉ある席を占めますことについて感激ひとしおなものを感じます。運動場の整地、区画整備が残されていますが、町当局のご配慮で一日も早く完成し、名実ともに小学校としての近代的機能を発揮できよう希望します。

小学校というものは、心のふるさととして、人の一生を通じて励まされ勇気づけられる思い出をつくることです。

この新総合校舎は、今後学ばれる児童生徒の心のふるさととして十分な外容を備えていますし、ま

たわたくしたち教職員一同は、この施設のもつ機能を最大限に引き出すよう努力したいと思っています。

教育最優先の

町政に感謝

一 小PTA会長 金指 恭三

四年の歳月をかけ、総合校舎を建設された町当局の御芳苦は筆舌に尽くしがたいと思う。しかもこの間、一幼、二幼、二小の改築を実施している。

近代的

総合教育施設

を得て

これは、欠代をつぐ子どもたちへの深い愛情と期待を示し、一教育一を重視、最優先した町政の尊い結実です。

この近代的教育諸施設が、わたくしたちの後継者に及ぼす影響を考えますとき、他、の公共投資をpushさえてまでも優先させた町当局の賢明さがつくづく感じさせられます。また、町議会が進んで執行者を支援、子弟教育への熱情を示したことにについても、わたくしたちPTA一同、感謝のほかありま

せん

このうえは、児童生徒の保健体育向上のため、残りの校庭整備を一日も早く完成していただくようお願いするだけです。

巢立て英才！

一 小OB 丸山 彦之助

旧校舎16教室が出来たのは昭和十一年のこと、そのときも建設費の捻出に、関係者一同は非常な苦勞をしている。

中川町長が実施した教育施設充実の事業は、当町にとつては長年の夢であった。今回それが実現したのは長い経験を背景にした中川町長の手腕であり、高く評価され得べきものがある。

また、給食センターを施設した卓見にも敬意を表したい。願わくば、このすばらしい近代的総合校舎をもつ一小から続々と英才が巣立ち、未来の町のため、社会のために役立つ人材となられんことを改めて当局に感謝します。

中川町長の就任祝賀会

|| 八月八日に開催 ||

中川後援会主催の中川町長就任祝賀会が八月八日午後二時、老人福祉センターで開かれました。

出席は二百十二名の多きに達しますがの大ホールが立席にしてもはいりきれない盛況でした。

秀村敏朗後援会長、渡辺議長等から、就任を祝うあいさつ、今後四年の町政執行に寄せる期待が述べられました。

中川町長はこれにこたえ、「気持も新たに、富士川町発展のために全力を注ぎます」とあいさつしました。

元松野村長

望月隆策氏

死去

元松野村長、富士川町自治功勞者、望月隆策氏は八月十三日に死去しました。

葬式は、八月十八日午後一時から、南松野法蓮寺で、町内外の関係者を集め、盛大に挙行されました。



故望月隆策氏は、長年にわたり村会議員、村長を務め、松野地区の発展に寄与、地方自治の成果をあげました。

国でもこの功績を認め昭和三十七年には藍綬褒章を贈ってその労苦にこたえ、さらに昭和四十年には勲六等単光旭日章を贈っています。

わたくしたちの町のために尽力された同氏のめい福を心からお祈りしたいものです。

静岡新聞主催

時局講演と料理教室

講師・浜島よう子

9月18日(水)

斎藤料理教室(塚町)で

会費・不用

お気軽にどうぞ

富士川町学校給食センター

開設について

所長 田村重雄

今回町内小中学校の学校給食の統一合理化をはかってセンター方式による運営をすすめるため、町立第一小学校内に建設が進められていた給食センターが八月二十五日に完成、九月四日から給食を開始しました。給食センターは第一小学校の特別教室四階建、(体育館の東側、プールの南側)の階下で、近代的な施設々備の整った立派な調理室(二三五㎡)です。

ここには、所長ほか事務職員、運転手、栄養士、調理員等十四名の職員が配置されて、皆さんの期待にこたえるため、給食調理の管理運営に万全を期しています。

およそ人間の生命の健康はどんな要因やどんな作用に支配されながら生長発展するかといえますと第一に栄養、第二に遺伝、第三は運動、第四が環境であるといわれています。この四つつのバランスのとれた生活が大切なわけですが、とくに中学生の一番发育の盛んな一年から三年にあたる一年間の身長についての发育量に対するこれらの影響度については、調査の結果、栄養が37%、遺伝が31%、運動が22%、そして環境が10%という計算値が出ています。

もとよりこの学校給食は、昭和二十九年、国家の要請によって、義務教育の小中学校に法律による運営が義務づけられています。すなわち、脱脂粉乳と小麦粉(国家の補助金を含めて)の配給を受けて、发育途上の児童生徒の身体を栄養のバランスによって健康的に育成し、同時に食事を通して学校生活を豊かにしかも日常生活の望ましい習慣やしつけおよび社交性を養い、食生活の合理化、改善に役立つ知識を身につけようとするものです。すなわち、「食べることによつて学ぶ」「食事させることによつて学ばせる」など、大切な指導が含まれております。

同じ器で平等な食事、なんの屈託もなく食事する子どもの姿は、どんなにか明るく朗らかで楽しいことでしょう。このよいふん開気の中で道徳教育が育ち、社会科、理科の教育につながり、素直な成長が目にあたり望めます。子ども

のために、ほんとうにしあわせなことだと思います。

この給食センターは、新鮮かつ良質の物資が受入業者の協力によって大量に消化されますので、価格も比較的安価に入荷し、学校における事務の負担量は軽減され、施設設備費や人件費等が合理化されて、近代化による栄養調理の技術等に集中管理の可能性が生じるほか学校差が解消されるなどの利点が数多くあります。しかしその反面、子どもが目の当り調理に接しないので、その調理の過程やその苦味が忘れ去られて仕出し屋、弁当屋方式的に流れ易く、学校給食の教育的意義が薄れがちになります。また、献立にも無理が生じ好みに合ったきめの細かい献立に困難を感じます。そのうえ、配送車による運搬輸送のため、型くずれや味くずれも生じ易く、保温上の問題(もちろん、保温食かんを使用しますが)や衛生管理上の問題が残されたり、学校行事が学校ごとに異なったり、小中学校別に給食開始の時間が異なるいは一、二中別に異なるので幾多の難問を控えています。しかしなんと

いって一番大切なことは、食中毒や伝染病の万一の事故です。それだけに給食は重大な責任のある仕事ですので、わたくしは職員

は衛生管理に万全を期して、生徒の皆さんに喜ばれる豊かな給食を提供するよう努力していきたいと思っております。

なお、このセンターの運営については、円滑かつ効果的な事業を行なうために運営委員会を組織して、常に検討を加えてまいります。委員会のメンバーには小中学校長(杉山和作、根津昇次郎、松永義道、宮石省吾、影島尊、斎藤静晴、久保田安男の四氏)教育委員長山本、氏、町議会総務委員長若月清氏、婦人代表富士川地区太田糸子氏、同松野地区代表石川愛子氏、教育長原田良之輔氏、それに所長のわたくしという構成になっています。

調理は、献立(毎月、保護者へ印刷してお届けします)にしたがって、毎日二千六十食の大量調理で、月曜から金曜までの週五日制です。

実施期間については、九月四日から年来三月十七日まで百十九回でちょうど月平均十七回の計画で一月分の給食費は従来のとおり小学校は六百八十円、中学校は七百六十五円として納金していただきます。ただし、その間、原価計算を綿密に行ない、むだを省いて精算していくようになりすが、物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

うよう職員一同努力いたします。どうぞその点に深くご理解をお寄せください。せつかく運営を始め給食センターが立派に育つようご協力をお願いします。(田村所長は公民館長、図書館長兼務)

物価上昇の折、喜ばれる給食を

実施期間については、九月四日から年来三月十七日まで百十九回でちょうど月平均十七回の計画で一月分の給食費は従来のとおり小学校は六百八十円、中学校は七百六十五円として納金していただきます。ただし、その間、原価計算を綿密に行ない、むだを省いて精算していくようになりすが、物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

うよう職員一同努力いたします。どうぞその点に深くご理解をお寄せください。せつかく運営を始め給食センターが立派に育つようご協力をお願いします。(田村所長は公民館長、図書館長兼務)

物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

実施期間については、九月四日から年来三月十七日まで百十九回でちょうど月平均十七回の計画で一月分の給食費は従来のとおり小学校は六百八十円、中学校は七百六十五円として納金していただきます。ただし、その間、原価計算を綿密に行ない、むだを省いて精算していくようになりすが、物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

うよう職員一同努力いたします。どうぞその点に深くご理解をお寄せください。せつかく運営を始め給食センターが立派に育つようご協力をお願いします。(田村所長は公民館長、図書館長兼務)

物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

実施期間については、九月四日から年来三月十七日まで百十九回でちょうど月平均十七回の計画で一月分の給食費は従来のとおり小学校は六百八十円、中学校は七百六十五円として納金していただきます。ただし、その間、原価計算を綿密に行ない、むだを省いて精算していくようになりすが、物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

うよう職員一同努力いたします。どうぞその点に深くご理解をお寄せください。せつかく運営を始め給食センターが立派に育つようご協力をお願いします。(田村所長は公民館長、図書館長兼務)

物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

実施期間については、九月四日から年来三月十七日まで百十九回でちょうど月平均十七回の計画で一月分の給食費は従来のとおり小学校は六百八十円、中学校は七百六十五円として納金していただきます。ただし、その間、原価計算を綿密に行ない、むだを省いて精算していくようになりすが、物価上昇の折、喜ばれる給食を

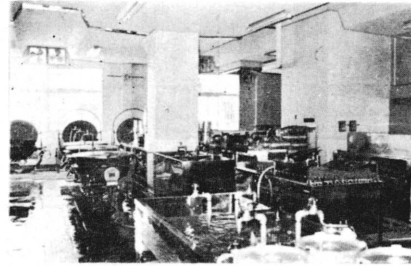
施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

うよう職員一同努力いたします。どうぞその点に深くご理解をお寄せください。せつかく運営を始め給食センターが立派に育つようご協力をお願いします。(田村所長は公民館長、図書館長兼務)

物価上昇の折、喜ばれる給食を

施すためには、現給食費のままに押さえ得るかどうかはすこぶ不安です。この付近あるいは県下の状況を比較してみますと小学校は八百円、中学校は千円となつて最低です。他町村では、栄養価から時季のものを取り入れ、そのうえ児童生徒の好みに合うおいしい献立を組み、さらに特別献立の費用も集金していますが、こちらは単価を押えてその範囲内で献立を工夫するので、どうしても無理困難が生じてまいります。すなわち小学校は一食四〇円で月平均十七円、パン九円〇一銭、ミルク二円四〇銭、燃料一円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二六円五四銭になります。中学校は一食四五円で月平均一七回、パン一二円〇九銭、ミルク二円六二銭、燃料二円〇五銭です。差引き食料に要する費用は二八円二四銭になります。物価上昇の時期にあつてこの給食費のまかないはたいへん難かしいものといえます。ところが、出来るだけ工夫してむだを省いて皆さんのご期待にそ

写真 九月四日より作業開始した給食センター調理室内部



町議会短信

七月
 19日 小池探上検査 芦川建設委員
 員長、古川議員
 22日 議長、三委員長（総務代理
 渡辺清・建設芦川守正・厚生
 養武司）が、町長、佐藤県議
 とともに交通と山砂利に関する
 意見書・陳情書を県知事、
 県警本部長、河川課、道路維
 持課、建設課、土木事務所、
 下流出張所に提出
 24日 総合防災訓練 議員十五名

8月
 5日 正副議長・常任委員長研修
 会（農業会館）渡辺議長・佐
 野副議長・渡辺清総務委員長
 代理・芦川建設委員長・養厚
 生委員長出席
 6日 県総合相談所開設、全議員
 出席
 7日 道路組合臨時会（富士宮市
 役所）高岡議員、桐山議員、
 渡辺議長、市川議員出席
 8日 町長就任祝賀会、議員十五
 名出席
 9日 給食センター運営委、若月
 議員出席
 10日 山砂利対策委員会、議員十
 名出席
 12日 議員・各種団体会長議

13日 厚生委員会、養委員長以下
 全員出席
 桑木野・峯山林道入札
 建設委員会、芦川委員長ほ
 か全委員出席
 望月隆策氏死去。渡辺議長
 訪問。
 30日 富士川用水対策委員会、県
 職員会館で開催。渡辺議長と
 坪内議員出席
 31日 交通・山砂利に関する意見
 書提出のため、中川町長、上
 木課長とともに、渡辺議長、
 芦川建設委員長東京へ出張
 建設省ほか
 5日 正副議長・常任委員長研修
 会（農業会館）渡辺議長・佐
 野副議長・渡辺清総務委員長
 代理・芦川建設委員長・養厚
 生委員長出席
 6日 県総合相談所開設、全議員
 出席
 7日 道路組合臨時会（富士宮市
 役所）高岡議員、桐山議員、
 渡辺議長、市川議員出席
 8日 町長就任祝賀会、議員十五
 名出席
 9日 給食センター運営委、若月
 議員出席
 10日 山砂利対策委員会、議員十
 名出席
 12日 議員・各種団体会長議

13日 厚生委員会、養委員長以下
 全員出席
 桑木野・峯山林道入札
 建設委員会、芦川委員長ほ
 か全委員出席
 望月隆策氏死去。渡辺議長
 訪問。
 30日 富士川用水対策委員会、県
 職員会館で開催。渡辺議長と
 坪内議員出席
 31日 交通・山砂利に関する意見
 書提出のため、中川町長、上
 木課長とともに、渡辺議長、
 芦川建設委員長東京へ出張
 建設省ほか
 5日 正副議長・常任委員長研修
 会（農業会館）渡辺議長・佐
 野副議長・渡辺清総務委員長
 代理・芦川建設委員長・養厚
 生委員長出席
 6日 県総合相談所開設、全議員
 出席
 7日 道路組合臨時会（富士宮市
 役所）高岡議員、桐山議員、
 渡辺議長、市川議員出席
 8日 町長就任祝賀会、議員十五
 名出席
 9日 給食センター運営委、若月
 議員出席
 10日 山砂利対策委員会、議員十
 名出席
 12日 議員・各種団体会長議

県議会交通安全特委

富士川富沢線を視察

を視察

勝沢代議士も

富士川富沢線

視察

県議会交通安全対策特別委員会一行（千頭和鍾太郎県議外四名）は、八月十九日、県道富士川富沢線の交通地獄視察のため来町。町当局、町議会、沿線住民代表

安全協代表等は、一行を役場会議室に迎え、十時四十分から十二時まで同線交通緩和対策について協議しました。
 一行は、この後十二時三十分まで現地を視察、ついで芝川町に向いました。
 町、地元民の苦しみがよく分りました。
 町の要望どおり、富士川の河川敷を利用してダンブ専用路を設けるのがなにより対策と思う。
 建設省に猛運動して、実現化に努力し、住民の皆さんの不安を一日も早く解消したい」

県交通事故相談所

九月二十七日（金）蒲原で

県交通事故相談所の巡回相談が蒲原町役場で九月二十七日に開かれます。時間は午前十時から午後三時までです。
 由比・蒲原・富士川三町の住民を対象に行なわれるもので、交通事故の問題でお困りの方は、ご遠慮なくお出かけください。



来町した竹山知事に 町当局、団体代表

町諸問題を説明

竹山静岡県知事は、県政を進めていくうえで参考に資するため、七、八月にわたり、秘書一人帯同という身軽さで県内各市町村の行政視察を行いました。

当町へは八月十五日に来訪、午後一時二十分から午後二時五十分までの間、役場会議室で町の要望事項に耳を傾け、各種団体代表者の陳情にも深くうなずいていました。なお、佐藤県議も来庁。

町側からは、町当局、各種団体代表者計四十三名出席。
中川町長は、次の項目につき、内容を説明しつつ、問題解決のため県の協力を要望しました。

- ① 地下水ならびに工業用水対策
- ② 県道富士川富沢線の交通対策
- ③ 山砂利の規制
- ④ 大気汚染と火力発電所誘致問題
- ⑤ 県道富士宮由比線の早期完成
- ⑥ 小池川の改修早期実現
- ⑦ 工場、事業所より排出されるゴミ処理
- ⑧ 農業用水の確保
- ⑨ 東名サービスエリアへ接続する連絡道路の開設
- ⑩ 県立高校の庵原郡下設置

① 富士川右岸土地造成に伴う公共用地の確保

出席者の発言にはいりませんでした。地元山砂利対策協議会代表・石川均氏「③について発言したい。

有無瀬川上流一帯にわたり、山砂利採取を目的に三十町歩の売買が行なわれ、施設も出来つつある。有無瀬川は過去幾度かは氾濫、現在では砂防工事が完成してはいますが、採取実施となると山を裸かにされ水害の危険とともに水源の濁水という最悪の状態が予想されます。

県の方でも新採取法にもとづいて県当局で不許可にしていたきたい」
富士川富沢線交通対策協議会代表・常盤清氏「②について、河川敷を利用し、早急にダンブ専用道路の実現をお願いします。これは沿線住民一般の悲願といえるべきものです」

区長会長・池上憲氏「⑥について、佐藤県議のご尽力に感謝している。

知事もご承知のようなあのよう

な災害を二度と繰り返さぬよう、早急に改修をお願いしたい」

農協組合長・芦川利一氏「①に ついて、大気汚染による農作物・人畜に及ぼす影響には充分注意したい。富士地区に建設予定の火力発電所は日本の将来のための国家的事業とは思いますが、同時に農村発展の面も考慮していただきたい。

安倍庵原地区での組合長会議でも公害対策の決議をし、農村の利益を守るため努力していくことを申し合せています」
町議員・太田義雄氏「②についてダンブ専用道路のほかさしあ



って、積荷のカバー、追い抜き禁止などという交通規制の面もお願いしたい」
町議員・斎藤六郎氏「⑨について、来存東名道路全面開通となる

とバラストプもある関係上、爆発的な交通量が予想される。将来を見通した総合計画の上に立つ県のご協力を願いたい」
交通安全協会富士川分会長・久保田為雄氏「②③について、交通

安全協会としても富士川富沢線の交通問題を憂慮している。県道だけでも去年一年で五、六人の死者を出し、まさに交通地獄の実態です。砂利採取については、川砂利にも量には限りがあり、当然予想される事態になっているという

ことで、建設省など監督官庁は「たいどんな指導監督をしていたのか」と言いたい。

県では、富沢線についていろいろご配慮していただいているようですが、山砂利プラントが開設されようとするとき、なおいっそう交通問題解決のためにご尽力願いたい」

⑦について、わたくしは製材業を営んでいますが、ゴミ処理については、業者同志で焼却の施設をもちたいと思うが、火災の点を考えると住家間に施設できない。富士川の河川敷の一角を確保していただきたい」

町議会議長・渡辺忠作氏「②について、右岸は工場用地としてではなく、公共施設用地としてお願いしたい」

町議員・養武司氏「富士川右岸土地造成についてはいくつかの案があるが、一案、二案が富士川に対して妥当な造成案である。考慮に入れておいていただきたい」
以上の発言に対し、竹山知事は次のように述べています

緊急かつ重要な問題であり、即答を求められれば即答もできるが、そのように軽く考えたくない検討してできるところからやっていきます。この点ご理解していただきたい。

県政はいままで第六次総合計画に沿って行なわれてきているが、現社会は非常にテンポで変わってきており、第六次だけでその開発ができるのだろうかという疑問をもたざるを得なくなつた。県会にはかり議員皆さんの了解を得て第七次総合計画を策定中であり、先月十日までに県内各市町村へその草案を発送、したがってご出席の皆さんはこの段階で将来の計をお考えになつていただきたいと思う。今年度中に作成しますが、県を東、中、西三大ブロックに集合して広域的行政を考え、基本構想は、わたくしたち一世代の問題ばかりでなく、後継者に渡していく問題も含め、もう一段先の計画を盛り込んでいきます。

三の点についてはお答えできると思っています。

まず、公害の件ですが、これは県の力だけではできない。こうした問題解決は民主政治の基本であり、国が法律を決めるべきかどうか考えました。さいわい公害基本法ができ、大気汚染法ができた。

以上を踏まえて、大気汚染法ができた。

これからはこの法律によって処理していく。

砂利については、去年の補正予算でも砂利対策費を計上して努力しているが、県に権限がなく直接的な官庁は建設省である。このため新砂利規制法ができると同時に土木部に責任をもたせ、県は県独自で対策を講ずる姿勢をとった。緊急性のある問題は砂利対策委員会で協議している。

交通安全については努力する。国道バイパスですが、先行取得

当町から初の

県社教連協 副会長

若月 清氏就任

富士川町社会教育委員長、若月清氏は、先に広報ふじかわ五月号で紹介しましたように、庵原郡社会教育委員連絡協議会長に選出され、さらに県中部地区社会教育委員連絡協議会長に選ばれたのに引き続き、五月開催された県社教連協議会総会席上、多数の推せんを得て静岡県社会教育連絡協議会副会長に就任しました。

県社教委副会長の要職を占めたのは、当町はもちろん郡下でも初のこと、同氏の長年にわたる社会教育活動の力が広く認められたものとして、関係者は祝福して

債により富士川橋の建設にとりかかる。また、農道開発にも重点を置く。

新設された自動車取得税は七割は市町道、三割は県道へふり分けられ、効率的な道路行政に役立つものと思われる。

富士川の土地造成は、測量調査をしただけで、まだ夢の段階であると申しあげておく。

会談は終始柔かなふん開気で進み、竹山知事もにこやかに話を結んでいます。

が、若月氏は健康を害し最近退院したばかりで、同氏の今後の発展に期待を寄せる人たちも健康に充分留意することを望んでいます。

若月氏は事務局長当時、今日の体育協会の基礎を作り初代野田会長、二代田辺会長を補佐して三代会長に就任、以来一貫して会長職をつとめ、静岡県体育協合理事、静岡県スポーツ施設常任委員として現在に至っています。

また、町議会議員三期目の円熟議員として総務委員長をつとめています。

独ひとりごと言

・広報担当者・

望月さん立派でした。十四戦十二勝とは!!
根性の賜物でしょうね。

左から、植松さん、芦沢収入役、渡辺さん、お客の高岡議員、谷津倉さん、会員の吉野さん、佐塚さんが心から拍手しています。右端の池谷さんが「優勝、望月義信さん」と言った直後の写真です

思えば、役場互助会の囲碁クラブを結成したのが三年前、一度は温泉場で日ごろのアカを落したいと希望しながらなかなか実現しなかった。

町村職員厚生施設 静雲荘 は

（蒲原ライオンズ）

ボーイスカウト庵原地区へ 五年前から毎年五万円贈る

浦原ライオンズクラブは、クラブ結成以来広範囲にわたり社会奉仕活動を展開しています。その数多い事業の内の一つとして、健全な青少年の育成のため、ボーイスカウト庵原地区へ五万円にわたり毎年五万円づつ贈っています。

浦原ライオンズクラブ広報委員長・原勝利氏は次のように述べています。

青少年の健全育成には、国際的組織をもつ日本ボーイスカウトこそ最適な団体であると思います。ライオンズ国際協会の世界大会

写真 戦い終り昇会の表彰場面
望月さん（議事事務局局長）の晴姿



がこんど始めて東京で開催されると同様に、一九七一年には世界ジャンボリーが朝霧高原で挙行されることになり、わたくしたちはボーイスカウト世界大会に全面的に協力することを決定しました。

蒲原ライオンズは、今後いっそうボーイスカウト育成、ひいては健全な青少年の育成に努力してまいります。

警察から 女性の皆さんへ

浦原警察署は、県下でひんびんと発生する性犯罪に対処して、全家庭へ印刷物を配り、注意をうながしています。とくに乗用車による性犯罪が多いことをあげ、車に弱い女性の性向を指摘している点注目されます。見知らぬ男性から同乗をすすめられたら、きっぱり断りましょう。

富士川町史追補 お分けします。

富士川町史追補の残部を整理の結果、まだ多少のとりがりますので、なるべく町民皆さんへと考えています。

当初と同じ千円でお分けします。ご希望の方は役場総務課へお申し込みください。

婦人会主催 家庭婦人学級

事例発表で成果

今年度四回目を二小で開く

町教育委員会の委託で婦人会が主催する家庭婦人学級は、八月一日午後一時から町立第二小学校図書室で開かれました。出席したおあささんたちは七十五人。

この婦人学級の開講は今年度すでに四回目。

「子どもの教育」について、渡辺清先生、根津二小校長、池谷社会教育主事を助言者に、望月婦人会長の司会で話し合いが行なわれました。

まず、「わたくしは子どもをどのように教育している」という事例が四人のおとうさん、おあささんから発表されました。

望月美奈子さん（根方・30才）
「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てよう」と努めています

石川文彦さん（道上・34才）

「育児、幼児教育を妻だけに任せず、わたくしもつとめて面倒をみるようにしています。

将来も夫婦そろって子どもの教育にあたりたい。

影島智子さん（水ノ口・36才）

は、親と子で日記を書く効果について自分の体験を述べ、ある一日の日記を発表しました。

田広雄さん（清水・49才）

「一歩一歩のしつけの積み重ねを心がけています。

学校の成績をよくさせようと配慮することも大切ですが、それ以上に、良い人柄であれと願っています。」

以上の事例発表は、出席したお

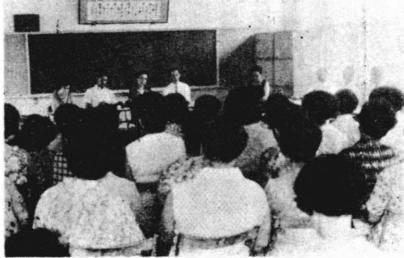


写真 二小で開講された家庭婦人学級

あささん方に大きな感銘を与えました。おあさん方のなかからも発言があり、助言者側の補助説明も加わって、内容の深い話し合いになりました。

望月婦人会長談「町教委が直接指導する四つの婦人学級とは別に一般教養講座的な婦人学級を考へ町教委のご賛同を得て開講しました。

これで四回目ですが、おあさん方になかなか好評で、講座のお世話をするわたくしたちも励みです。

今後、なおいっそう前向きな姿勢で、皆さんに少しでも役立つ話し合いの場を提供していきたいと思っています。」

総合相談

千五百人が利用

静岡県、NHK、富士川町主催の移動総合相談は、八月六日、一小、一幼を主会場に開催され、次のような成果をあげました。

- 身体障害者相談 二二件
- 乳児健診 一六七〇
- 生活相談 六二〇
- 成人病健診 七三〇
- 子ども相談 二九〇

- 血液判定 四一一
- 移動相談 一〇三〇
- 対話出席者 五一八
- 講演 〃 七八〇

催物 〃 四二二〇
延千五百人の人たちがこの移動総合相談を利用したことになりました。

台風シーズンに備えよう

昨年＝死者六〇三人

本格的な台風シーズンにはいりません。

昨年中に全国で発生した自然災害によるおもな被害は、死者・行方不明者六〇三人、負傷者九四四人、住家の全半壊・流失四、七二七棟、床上浸水八万二、五四〇戸などとなっています。

次の注意事項をよく守り、台風シーズンに備えましょう。

① 台風情報が出されるようになつたら……

(イ) 家の周回を見回って下水路をよくしておく。

(ロ) 屋根やヘイの補修をしておく。

(ハ) 小さな子どもには衣類に名前をつけておく。

(ニ) 海や山への旅行は早めに中止する。

(ホ) 川の近くに住んでいる人は、避難場所を確かめ、家族全員に徹底させておく。

(ヘ) 停電に備えて、トランジスタラジオを準備しておく。

② 注意報などが出て台風の襲来が確実になったら……

(イ) 低地に住んでいる人は、早めに避難の準備をする。

(ロ) 服装は活動しやすいものとしズキンやヘルメットで頭部を保護する。

(ハ) 非常食糧、飲料水、懐中電灯、応急医薬品など必要最小限の品を非常袋に入れておく。また、現金や通帳、印かんなどのたいせつな物は、はだ身につける。

(ニ) 避難命令が出たらガスの元栓を止めて火の気を完全に消し電気のスイッチも切ること。

③ 台風が通過したら……

(イ) たれさがっている電線には決して手をふれないで電力会社などへ連絡する。

(ロ) 浸水地域では伝染病の発生に注意し、消毒、節制に心がける。

(ハ) 川沿いの道路は、下の土が洗い流されているから、自動車の運転には十分注意する。

町職員募集

町職員の採用は、静岡県町村会が、県内町村職員採用試験を一括して行ない、第一次合格者を決定します。

合格者は第二次面接試験を経て採用候補者名簿に記録され、各町村長が身体検査等を行ない採用者を内定、昭和44年4月1日に採用するという仕組みになっています

当町では、例年通り、退職者や欠員補充のため職員採用試験の委託を県町村会に申出ています。

富士川町職員を希望する方は、この採用試験を受験してください

◎試験職種
一般事務（技術事務を含む）
町村役場で一般の事務に従事

◎受験資格
昭和20年4月2日から昭和25年4月1日（昭和44年高校卒業見込）の人は昭和26年4月1日）までに生れた人

◎試験方法
教養試験を高等学校卒業程度で行ないます

◎試験日
昭和43年10月20日（日）

◎受験手続
当町役場に申込用紙を請求、必要事項を記入し、役場へ直接提出してください。

出してください。

◎受付期間

昭和43年9月10日～9月30日

（お問合わせは役場総務課

81・1111）

九月号から

「町民往信」欄

ご利用ください

皆さんの要望にこたえ、九月号から「町民往信」欄を次の要領で新設します。ご利用ください。

◆ 営利に無関係で、虚偽でなく、しかも公共の福祉に反しない内容であること。

◆ 五十字以内

◆ 毎月十日までに役場総務課広報係あて。電話送信でも可。

第11回各区対抗

町民野球大会

旭町区優勝

二位は本通三・四

富士川町体育協会主催の第11回各区対抗町民野球大会は、八月十四・十五の両日、一中グラウンドで開かれました。

参加チームは、新町、旭町、上

例

子ねこ譲りたし、三毛雌、生後一カ月。かわいがつてくれる方。

中ノ郷×××番 鈴木太郎

当方二十三歳の会社員、油絵を勉強している方と交際したい。当方画歴三年のカケダシ。

木島××番 望月次郎

電話81・×××番

富士川町史（本史）をお譲りください。

岩淵××番 佐藤一夫

電話81・×××番

青春を音楽で、サークルをつくりたいと思います。ご連絡をお待ちします。

北松野××番地 池田花子

電話85・×××番

（九月はとくに二十日まで受け付けます）

いう熱戦の末、旭町が優勝しました。

旭町はこれで通算三回の優勝を記録、「野球・陸上の強い体育区」の評判どおりの戦歴を重ねました。

なお、今回の大会で注目されたのは、松野地区からただ一チーム参加し気概を示した北松野チームで、準優勝に対戦した旭町を徹底的に苦しめ、その戦いぶりが賞賛されています。

青柳理事長談「各区の区長さん体育部長さんのお骨折りに深く感謝します。

各区対抗町民野球大会もことし

広報「ふじかわ」を綴ってある方に

記念品を贈呈します

ことし十一月の文化の日に広報ふじかわが百号になります。

明治百年の年にあたり、百という単位にはほえまじきを感じさせられます。

広報ふじかわは役場の広報紙でなく、町の、皆さんのためにあるものです。今後ともいっそうきびしいご批判をお寄せください。

さて、百号を記念し、次の方に記念品をお贈りします。

① 広報ふじかわ一号をお持ちの方

で11回、長い間にはいろいろなことがありましたが、今回の大会についても反省させられる面がいくつかあります。

体育協会として各区の皆さんに申しあげたいことは、大会は体育協会が主催しますが、あくまでもおぜん立てする程度で、本質的には、皆さんが皆さんのために行なう事業であるという点です。残念なことに、この根本的な考え方から離れて不参加になった区がありますので、来年のこともあり、ご理解いただきたいと願います。次第です。

② 綴り込むようになってから全部そろえてある方

一号あるいは綴り込みを役場総務課広報係へご持参ください。（あなた自身でなくても近所の人とか、子どもさんでも構いません）

九月十六日から十月十五日まで

記念品は文具 ①は②の三倍分を贈呈

手をつなぐ親の会

郡大会、第一公民館で

八月二十五日、手をつなぐ親の会の総会が第一公民館で挙行されました。

「手をつなぐ親の会」は、身障児童生徒のしあわせを求めるために結成されているものです。

午後三時から、まず、富士川町手をつなぐ親の会、続いて午後四時から庵原郡手をつなぐ親の会が行なわれ、それぞれ43年度の新役員と事業計画を決定、町の会長に金指恭三氏（本通三、医師）郡の会長に土屋博氏（蒲原町）を選任しました。

この会の運動は、年々、各方面の理解を得、暖かい援助が寄せられており、この日、行事に積極的に参加、協力した蒲原ライオンズクラブからも五万円が贈られています。

総会后、特殊学級児童生徒による音楽会が開かれ、六時からは一中校庭で、ボーイスカウトの指導によりキャンプファイヤー、歌や踊りで晩夏の一夜を楽しみました。参集した親子は三町で三百余人大喜びではしゃぎ回る子どもの顔が、「明治百年」と描かれた仕掛

花火のあかりに浮かびあがり、主催者側は「この子らのしあわせをいっそう深めよう」と言い合っていました。

南松野地区

ボーイスカウト

へ秀村テント

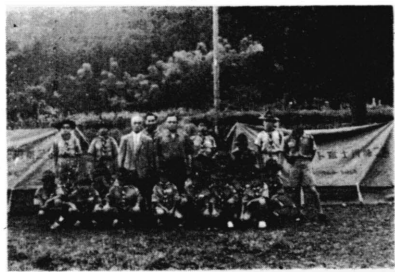
日本ボーイスカウト富士川第二団（南松野地区・望月豊隊長）へテント二張が贈られ、同団の今後の活動に便宜を与えています。

贈主は秀村敏朗氏（秀村医院長・富士川町文化協会会長）で、同氏がかねがね青少年の健全育成に理解を示しています。

また、蒲原ライオンズクラブでもテントを寄贈、第二団の活動を支援しています。

同団は、富士川第一団（本州製紙岩湧工場の子弟）とともに、二年後、朝霧高原で開催される世界ジャンボリーを目標に訓練し、世界の仲間と日ごろ鍛えた技能を競って親善をはかり、世界平和の基礎となれるよう努力しています。最近の動きでは、全本州製紙ジ

写真 秀村テントを背景に秀村氏（中央）を開き鈴木会長、望月隊長、影島指導者とボーイスカウト



と思っっています。

健全な青少年を育てようとするこの活動に、皆さんのご支援、ご協力を願います」

今夏の話題

名犬フジ公

名犬ハチ公ならぬ名犬フジ公が今夏の舞台に登場。

相生町の植松芳雄さん（日軽蒲原工場勤務）の飼犬で、生後二年の柴犬フジ君がその主人公。

敏君（静岡東高三年）と政美君（沼津学園一年）兄弟のキャッチボールやノックに加わって、遠くへ飛ぶ打球を追い、口で捕えて矢のように戻ってくるというもの。軽く二人分の球拾いの役目を果たします。

今朝も今朝とて、せみしぐれの一小校庭で、三人？は仲良く白球と興じています。

小さな体で打球を口に加え、ひよこひよこ運ぶ姿はたいへんかわいらしく、たまたま見ていた人たちから感嘆の声ががりました。

敏君「芸として仕込んだわけではなく、いつか自然に覚えてしまったんです」

いずれにせよ利口な犬です。



夏休みが終った。海も山も絶望的な混雑で、子ども連れでのこの出掛けてきた父親の多くはただ疲労だけを重ねただろう。

母親たちの説によると、夏休みには家族で、どこへも行かなかつた子どもはクラス中に一人もない。先生が手を挙げさせて調査する、というのである。

むろん、ふだんと違った環境に接することは必要だ。そこで、どんな発見をしたか、一人一人がどうのびたか、先生は重大な関心をはらって子どもに聞くだろう。しかし、どの子どもどの子も、何の工夫も新味もない海水浴場へ行って来たというだけなら、先生はガッカリするだろう。

最近ではあまりに家庭が教育づいてきた。家族で外出することが「家庭教育的」だという錯覚が広まってしまった。これには多分にお隣りも海へ行ったから、という性根のなさもある。

初秋、父親が寝ころがっていたら、せめて母親が読書している雰囲気、家庭のなかにもちたいたいのである。

社会教育主事・池谷久万夫

青年団体体育大会

清 勝元君が

千五百で大会新

富士川町連合青年団（西村雅己団長）の昭和43年度体育大会は、八月二十五日の日曜日、第一中学校校庭で開催されました。

南松野、北松野、木島、岩淵、中之郷、富士川の六分団、計百五十余人の団員が汗にまみれ、上にころんでの青春譜。

清勝元君が千五百メートルで大大会新を記録したほか、成績次のとおり。

総合一位 北松野分団

男子総合一位 木島分団

女子総合一位 北松野分団

（競技種目A）

●男子 （敬称略）

百 丸山善浩（木）二二秒〇

四百 石川勝出（富）五八秒二

千五百 清勝元（中）四分三三秒六

走巾 丸山善浩（木）五m六五

走高 小池一義（北）一m六〇

砲丸 池田一郎（岩）一m八六

●女子

六十 青柳康江（岩）九秒五

走巾 山本ふじ枝（中）八四m二〇

久保田和治（北）

ボール投 望月悦子 三m五八
（競技種目B）
スエーデンリレー 中之郷分団
女子四百リレー 二分三八秒七
北松野分団
一分〇九秒八
八百混合リレー 北松野分団
（競技種目C）
綱引 富士川分団

盆栽愛好者の会へ

入会しませんか

富士川町盆栽愛好者の会は、発足して六カ月、会員は現在四十三名、意外なことに若い人たちが多い。

会長に池上憲氏、副会長に山本秀二氏、会計に井口勇三氏を、また理事に齋藤新一郎・加藤計男・佐野重治・鈴木富治・辻孝の五氏を選任、定例会は毎月第三日曜日夜七時から九時まで老人福祉センターで開いています。

経験者を中心として育成管理の研究と会員所持品の交換や信用ある苗木屋・鉢屋を呼びオークションを行ないます。

八月二日、三日に本通りの望月詳五氏宅で初の展示会を開催しま

したが、たいへん好評で、参観者約五百人を集めました。会員の苦心作を一般に展示し観賞していただくとともに、批判を仰ぎ、さらには同好の人に入会をすすめる目的で開かれたもので、熱心に質問する姿も見られ、盆栽に対する強い関心が示されました。

同会は、富士川町文化協会（秀村敏朗会長）盆栽部として活動を続けていきますが、こと十一月の文化祭に色鮮やかな菊の花や緑の盆栽の出品を考えており、会員はその日を期して各品を育てています。

入会手続きは簡単で、しかも今からやってみてみたいという人も歓迎

しています。

夢でない観光富士川

きれいな町に旅行者を

町今後の課題の一つに、観光富士川町の開発があげられます。

中川町長は、広報ふじかわ95号および96号などでもその決意の一端を示しているとおり、観光資源の活用を積極的に考えています。

東名高速道路は来春に全面開通が予定されており、バスの運行が開始されますと、東洋を誇る景観を楽しむため、数多くの人たちが富士川サービスエリアを訪れることでしょう。

時間、一部の人は、さらには富士川町そのものに興味をもち、バスのストップの玄関口から町内へと遊歩の足をのぼし、あるいは夜の旅泊を求めるところも考えられます。

富士川に遊び、緑の野田山に遊ぶ観光客は、もう決して夢でない段階にきているといえます。

観光地としての発展をも望むと

ってきたものといえましょう。生活にうるおいを与えてくれる盆栽の価値が増したわけで、嬉しく思います。

同好の皆さんと盆栽を通じて、人間らしく生きていきたい

き、おしなべて同じ風潮の現在の観光地のある方とは全く離れ、すっかりした個性のある観光地を考えるべきだと思えます。またゴミのないきれいな町とそれにもまして皆さんの暖かく迎えられる心が必要となってくるでしょう。

観光事業は宣伝一つという安易な気持は温泉などの観光決定資源をもっているところでさえ、最近では訪客の数の伸び悩みという姿で反撥されています。受入れる地元で暖かい心が欠けていけば、どんなすぐれた宣伝しようとも好結果を得ることが出来ない証左だと言われます。

九月一日から七日までは静岡県観光週間、静岡県観光協会（川井健太郎会長）は、全国に誇る観光静岡県をさらに発展させるため、旅行者に親切に、呼びかけるとともに観光資源の保護、観光地の美化を進める運動を展開します

体協剣道部主催

剣道夏季練習大会

一 小体育館で

富士川町体育協会剣道部（尾崎初男部長）主催の剣道夏季練習大会が、八月二十二日午前八時半から正午まで一小体育館で挙行されました。

富士剣道連盟に所属する人も参集、中川町長、若月体協会長、青柳同理事長を迎えて定刻に開会しました。

中川町長「青少年教育のうえで剣道の果たす使命は大きい。これを機会として、町体協剣道部、富士剣道連盟の皆さんに、町青少年層への剣道指導をお願いしたい。さいわい、このような体育施設も完成したので有効にご使用下さい」若月体協会長「暑熱のなかにもかわらず、多数ご参集くださいありがとうございました。剣道を通じて明るい社会づくりにご協力ください。中学生の皆さんも、剣道で根性を鍛え、学業にもその成果をあげられるよう」

参集者は、一中剣道部（永田彰敬先生）から十六人、富士中から十三人、高校生六人、富士剣道連盟から九人の計四十四人に小学生豆剣士四人の合計四十八人。

練習大会は、基本体操からはじまり、中学生の紅白試合、高校生一般の模擬試合・演技と多彩な練習風景を展開しました。

竹刀（しない）が防具を撃つ音や、激しい掛声は場内に響き、その勇壮な動きは、たまたま来合わせた人々を次々引きとめるのに十分な魅力となっていました。

わたくしたち観覧者がまず第一に感じさせられたのは、剣道を志す人たちの礼儀正しさでした。入口に脱いだはきものが、一足残らずつま先を外にきちんと並べられていました。

注意して見ますと、体協剣道部長尾崎初男氏（体協副会長、剣道七段・練士、43歳、尾崎印刷所社長）が、けいこのたびに「剣道は礼に始まり礼に終る。礼儀が剣道の生命である」と言いきかせていました。

異色剣士を

紹介しましょう

その一・豆剣士の巻

齋藤将也君は一小一年生（7歳）、堺町の齋藤勝彦さん（岩湖町

便局勤務）の長男。

小沢伸行君は一小二年生（7歳）、本通一の小沢弘さん（洋品店経営）の長男。

古川隆正君は一小六年生（10歳）、宮町の古川章造さん（国家公務員）の長男、古川町議会議員の孫。

以上の豆剣士は、富士市から来たもう一人の豆剣士とともに、白い鉢巻をきりりと締め、けい古着にはかまをつけてりりしい姿で、元氣よく練習していました。とくに齋藤、小沢両君が防具をつけて模擬試合を始める段になりますと防具と竹刀が歩いているようで、そのかわいらしさに、観覧席から

思わず歓声が湧きあがったほどでした。その闘志は立派なもので、根性づくりをねらった両親の期待に十分こたえています。

ことし四月から、富士剣道連盟に通いはじめているとのこと。がんばれ豆剣士!!

その二・女流剣士の巻
大会紅一点の女剣士、坂本光子さん（19歳）本通四丁目の坂本恒基さん（古物商）の二女。

一中剣道部へ通いはじめたのはことしの四月、最近、富士剣道連盟にも籍を置いています。
永田先生談「年のずーっと若い中学生に教わりながら熱心に練習を続ける姿をみて、つくづく感心させられています」
昼間は車を運転して家業の手伝い夜は子ども会のおねえさんとしての活動とこの剣道の精進。

防具の面をはづすと美しい髪の毛が風に流れ、まず、歯切れのよいことばつきと礼儀正しい態度に好感がもたれます。
「剣道で自分を磨いてみたい」と思っていました。ことしの春、家の前を竹刀と防具を持って通った中学生を見て、一中剣道部へお願いしたらと思いつき、さいわい夢が実現しました。

きつい練習を越えていく喜びは大きく、禪に通ずる剣道の精神はすばらしいと思います」

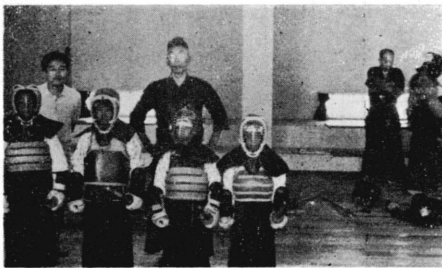


写真 試合にのぞむ豆剣士と尾崎練士（後）

調理ひとこと

●キャベツのてんぷら……キャベツの外側の葉はかたいので、たいてい捨ててしまいます。いちどてんぷらにあげて召しあがってみてください。おいしく、栄養も豊富●かつおぶしをうすくけずるには……かつおぶしをちよつと火であたためてけずってください。

編集覚書

あれよあれよというまに八月が去っていく。
あれもこれも記事にしようとしている内に八月末発刊になってしまふ。

さて、初秋の気配が濃い今、九月をおもい新鮮な編集企画をおもよう。
◆ 九月号からの「町民往信」を大いにご利用下さい。

◆ 皆さんの回りに見聞される——
—— 珍らしい話、感心させられる話、おもしろい話を広く町民の皆さんにお伝えくださいませんか。電話で結構です。必要によっては、いつ、どこへでも出かけます

総務課 〇一 一一一
広報 齋藤 博

婦人バレーボール大会

新町四十九が優勝

43年度の富士川町婦人簡易バレーボール大会は八月七日正午から一小体育館で開催されました。参加チームは例年になく数少なく7チーム(南松野・清水・大北新町四十九・宮町・儘下・小池)でしたが、試合内容はすばらしく熱戦が展開されました。

試合場が新装なった体育館であり、またユニホームをそろえたチームもあって、職業団バレーボール試合を思わせたほどです。声援、拍手、爆笑がとび、元気よく競技するおかあさんたちの健康美は場内を圧し、スポーツとい

うものが、体を、また心を、いかに美しくするものか、考えさせられた一幕でした。

新町四十九チームが本命宮町チームを撃破して優勝を飾りました。原エツ子さん(新町四十九チーム主将・33歳)談「おかあさんたちが忙しく、練習も試合前、二日やったばかりですが、こうした機会に、ただ参加するだけでも大切だと話合って出場しました。優勝できて嬉しく思っています」

なお、松野地区からは四チームも出場、試合の勝ち負けにこだわらず、真剣にプレーし、バレーボ

ールそのものを楽しんでいた姿が印象的でした。

この婦人簡易バレーボール大会は、例年、婦人会が、町社会体育指導委員会の指導を受けて開かれるもので、今年度は第7回目。

閉会のあいさつで望月婦人会長は次のように述べています。

「家庭にばかり閉じこもらないで、このような機会に心の窓を開いて、さわやかな新風を入れたいものです」

43・6・2078・19

人の流れ

(敬称略)

祝 結 婚

区名 新郎 新婦 旧姓
上町 井上光昭 艶子 石原



写真 一小体育館での試合風景のびのびプレーするおかあさん方

祝 誕 生

四十九	宮地輝明	晴代子遠藤	四十九	増田 磨	力三	長男
富士見	木伏 功	ゑつ子望月	相生	志村雅由	一男	長男
本四	辻 永	トモ子 錦織	本四	野村和敬	政信	二男
区名	氏 名	保護者	相生	望月まり	伸浩	長女
四十九	益木利江	桑太郎	本三	山本寿美子	剛弘	二女
相生	丸橋正俊	栄	宮町	前林勝利	士郎	長男
室野	望月 学	時男	四十九	森中みどり	俊雄	二女
小池	宇佐美美恵子	義夫	新町	望月香苗	喜義	二女
木島	芦川直美	達雄	大北	佐野利幸	貞利	長男
舟山	藤沢みゆき	一夫	大北	望月祐次	光男	長男
宮町	太田智美	誠二	大北	望月 勉	伸泰	長男
宮町	若月元昭	宣良	大北	松下恭子	光英	三女
相生	松本和教	定雄	大北	沼田 進	宣男	長男
宮町	浅場正洋	勇	大北	望月健史	竹道	長男
四十九	植野 誠	隆次	大北	鈴木智恵	照男	二女
舟山	日下部恵子	利弥	大北	前田仁美	宏	二女
川坂	石川浩司	和夫	大北	宮下剛至	文夫	長男
			大北	田中秀明	貞夫	長男
			大北	長谷川正広	広	長男
			大北	中村真規	光男	長男
			大北	太田守和	勝己	二男
			大北	宮崎裕久	賢	二男
			大北	風岡祐里	栄政	長女
			大北	矢野幸治	美幸	長男
			大北	渡辺留美子	教章	長女
			大北	原 佳世乃	趙武	長女
			大北	植松 裕	偉男	長男
			大北	中丸まゆみ	富一	長女
			大北	佐々木吾朗	捨朗	長男
			大北	太田成美	敏博	長女
			大北	渡辺則朗	政志	二男
			大北	稲葉紀江	章	二女
			大北	和泉たか子	雪雄	長女

大北 田村美香 栄 二女

転出 (結婚)

区名	氏名	転出先
小山	植松睦子	富士宮市
堺町	永田光子	千葉県
本一	斎藤まさ子	由比町
富士見	木伏清子	富士宮市
清水	白井暁子	横浜市
南町	望月淳子	清水市
大北	安藤桂子	富士市
相生	斎藤千枝子	清水市
小池	佐塚康子	芝川町
本一	竹内さわ江	富士市

祈冥福

区名	氏名	年令
東二	加藤熊三郎	九一
旭町	平野丈夫	五六
南町	錦織正味	四一
八幡	稲葉房江	三八
南町	佐野栄作	七三
清水	天野さく	七五
南町	鈴木ヒサ	九一
儘下	風岡さき	七六
大北	小林与作	三二
宮町	塩坂吉伸	二六
坂下	青木重作	八〇
清水	田中つや子	四一
儘下	小川万五郎	八六
南町	望月隆策	八七
八幡	石井雅美	一
儘下	深沢孫二	三二

東北の旅は、言葉が通じないの、異国に居る様でわびしい。殊に、独り旅の場合は、とりつく島もない。

タクシーへ乗った。「運みてけ」と言うから窓外を見たが何も無い。聞き返すと、「初めてかい」と言う事だった。と、万事この調子で、頓珍漢な旅の連続であったが、犬も歩けば棒にあたるたとえ、結構面白い事もある。

秋田県の男鹿半島に、門前と呼ぶ小さい港がある。七月七日の午後、私は、海の絵を二枚描き上げて、宿へ引き上げて来ました。洗心旅館の入口で待って居た若い男が、絵を引っ張ってしきりに見たがる。「絵が好きで好きでたまらない。何処かでお目に掛った様な気がします」と、大きな目で私をのぞき込んだ。私は、二階を指しそこで名乗ろうと指図をしました

この男は、大内宏といい、丁度私の隣室に陣取っていて、他に老婦人二人、若い娘二人の五人組で、変な組み合わせだと思っていました。彼が先に立って、私の描いた絵を部屋一ぱいに掲げ、絵を批評しながら私を紹介した上、酒だ!! ビールだ!!と取り寄せては飲ませる。果ては、夕食も一諸にどうぞという事になり、五人の中に割込む事になった。

彼は、秋田随一の料亭大内の若

旦那で、若い女の子の一人は、彼の秘書で、一人は、彼の経営するクッキングスクールの生徒である事が分った。「この旅館の娘さん居たでしょう。きれいな、...あれもうちの生徒です」と、彼は得意であった。

食事をしながら話に花が咲いた頃、彼は、ウキスキーをコップであおって、二人の若い美女を赤いプリンスに乗せて風の如く去った。去るに及んで、必ず先生を自宅へお連れする様にと依頼していた。

旅で拾う七夕の想い出

その夜、残された老婦人二人が隣室で、腰が痛いの、寝つかれないのと言って、遅くまで音を立てていたが、襦をあげて「おやすみになれますか、七夕の夜お逢いしても、こんなに老人ではねえ」

先生、明日必ずお連れしますから兎も角、明日大内さんにお泊りになって下さい。見て頂くものもあるし、それはそれは広いお宅で泊る位何でもありません

私も起き上って窓の外を見た。月が上って海面が明るく輝いている。この老婦人は、老婦人と言っ

ても、私と同輩で、秋田歯科医師会長須磨さんの夫人と、東京舞踊衣裳、大坂屋の専務取締役の山本さんと、東京から歯の治療に秋田へ来ている話なども出て、なかなかつきない。

翌朝、二人は、ハイヤーを呼んで私を乗せた。「娘時代は、人が振り向きませんでした」と言う程あって山本さんは、肉の落ちた二の腕を露出しているが、派手な横縞のワンピースとやらを身につけ、網の帽子などを頭に乘せたりしていた歯科医の須磨さん宅に着いて、手厚いもてなしを受け、四百坪の住居の間々で案内して頂いているうちに、大内さんよりの迎えの車が来た。これからどんな事になるのか。

「大内はすぐ戻りますから。まあよくいらつしやいました。お待ちしておりました。さあお上がり下さい」と、涼しい目をほころばせたのは、見るからに秋田美人で大内の奥さんであった。何でこんなに欲待されるのか?

言うがままに通された処は、広い家の中にあるバーで、彼がバーも経営している事が分った。「昨日はあれからどうでした」ビールを注いだ女の子を見ると、秘書だと言ったあの娘であった。ビールがあわを吹くので、答える間もなく、ぐっと一杯あおった。

「どうかこれにこりず、又是非極楽へ来た様な錯覚に陥った」

「どうかこれにこりず、又是非いらつして下さい」と心から別れを惜しみながら、大内夫人は手を振っていた。其の白い顔に、何か打ち開きたい悩みを秘めている様でもあった。

(筆者は画家)